

ね

FUCHU HOSPITAL

っとわーく

Vol.189

H31.2



心エコー検査について



府中病院

地域医療連携室

心エコー検査について

循環器内科 医長 山下 智子(やました ともこ)

今月の
担当医師



<資格等>

日本内科学会認定内科医・総合内科専門医

日本循環器学会循環器専門医

日本超音波医学会超音波専門医

はじめに

日本における心疾患の死亡率は、悪性新生物（癌）に次ぎ2番目に多くなっています。特に高齢化により、心不全患者数は増加傾向にあり、2020年には120万人に達すると言われていています。今後ますます増加していくことが予想される中で、非侵襲的に心機能を評価することのできる心エコーの役割は大きく、さらに重要性が高まると考えられます。

心エコー検査の特徴



現在、心エコーはすでに循環器診療には欠かせない検査であり、とても身近なものとなりました。心エコー検査の特徴としては下記のようなものが挙げられます。簡便な割に得られる情報量は多く、有用性の高い検査と言えます。

【利点】

- ・心臓の形態や機能を非侵襲的かつ短時間で評価できる
- ・リアルタイムに画像として可視化できる
- ・動きを評価することができる
- ・血行動態を評価することができる

【欠点】

- ・施行者の腕によって画質が変わることがある
- ・体型に左右され、高度肥満では観察困難な場合もある

当院での心エコー検査について

当院では、月曜日から土曜日まで（祝日を除く）9時～16時で心エコー検査を実施しています。

検査は一人につき、10分～20分程度です。心エコー検査の担当技師は昨年から5名に増え、うち4名は循環器領域の超音波検査士の資格を取得しています。

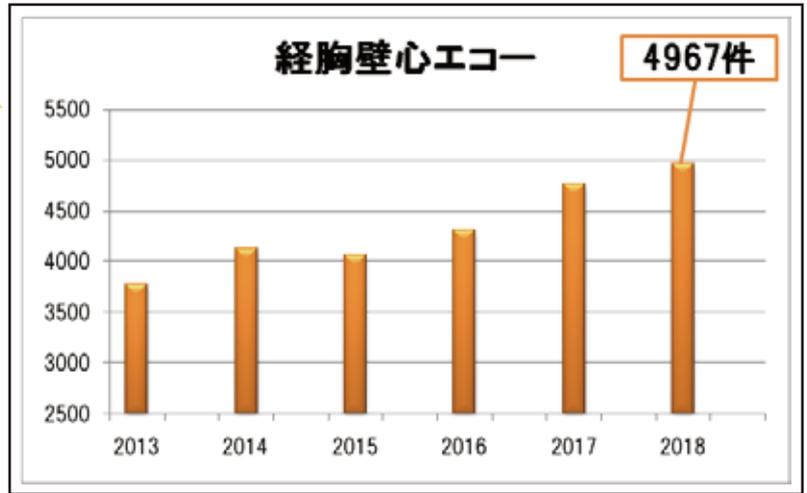


心エコー施行中の様子

心エコー件数の推移

さらに超音波専門医がその場でチェックできるシステムをとり、より診断精度を高め、信頼される心エコーチームを目指しています。

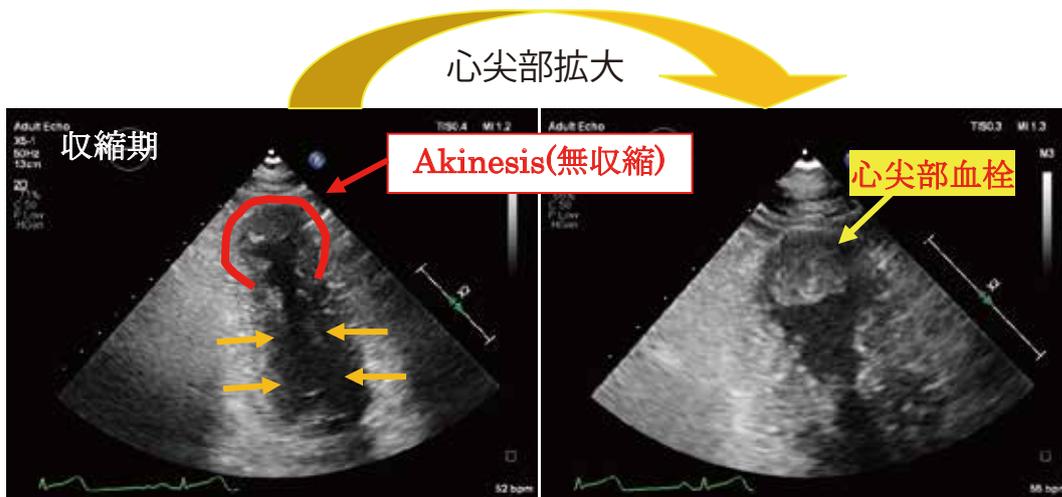
おかげさまで、2018年の心エコー実績は年間5000件に迫る勢いでした。



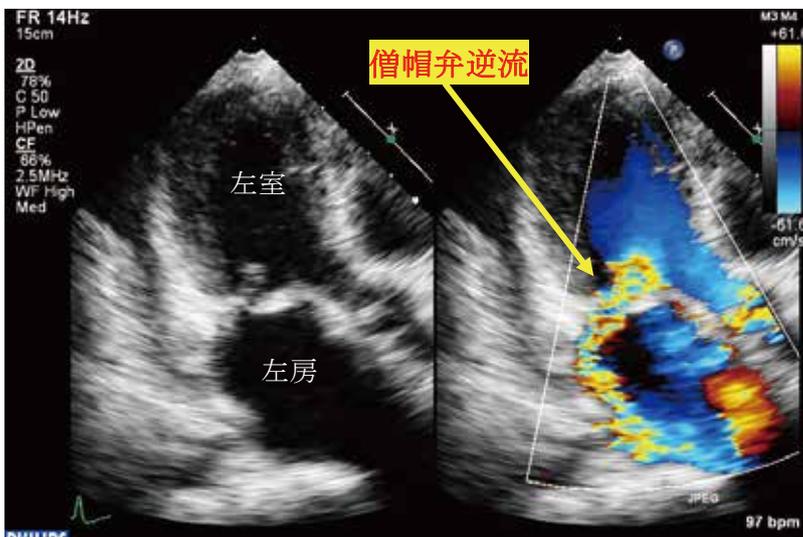
当院での症例

① 陳旧性心筋梗塞、心尖部血栓

67歳男性。左前下行枝中間部を責任病変とする急性心筋梗塞を発症し、半年後のフォローの心エコーです。無収縮の心尖部に異常構造物を認め、心尖部血栓と考えられ、抗凝固療法を開始しました。



② 僧帽弁逸脱症、高度僧帽弁逆流症



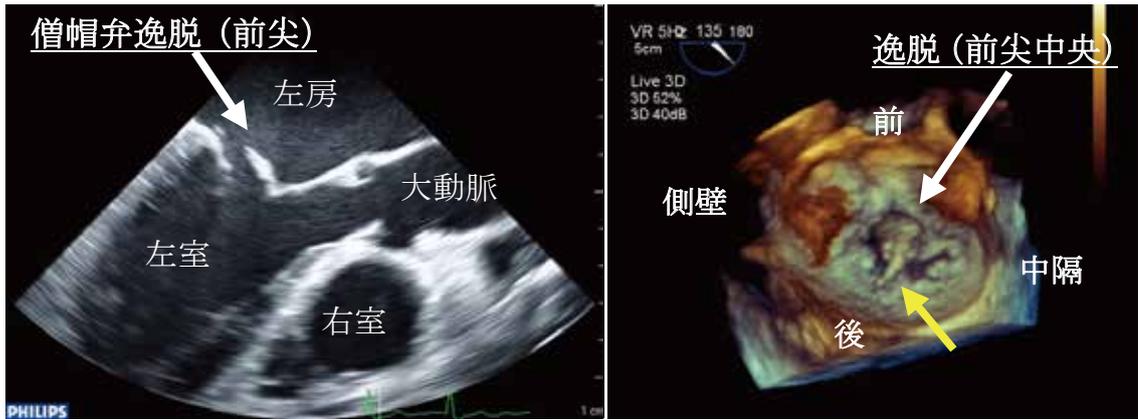
74歳女性。心不全加療のため紹介となった症例です。心尖部に全収縮期雑音を聴取し、心エコーで僧帽弁逸脱（前尖中央部）からの高度僧帽弁逆流症を認めました。

下図は内服コントロール後に行った経食道心エコー図検査です。経胸壁心エコー図よりも逸脱がよくわかります。

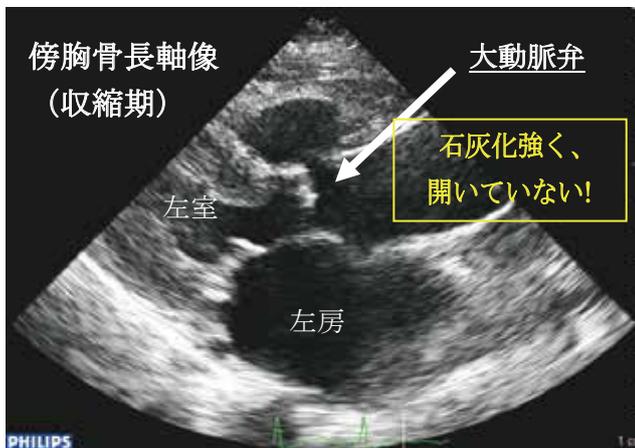
本症例は、僧帽弁形成術を施行しました。

【経食道心エコー図検査】

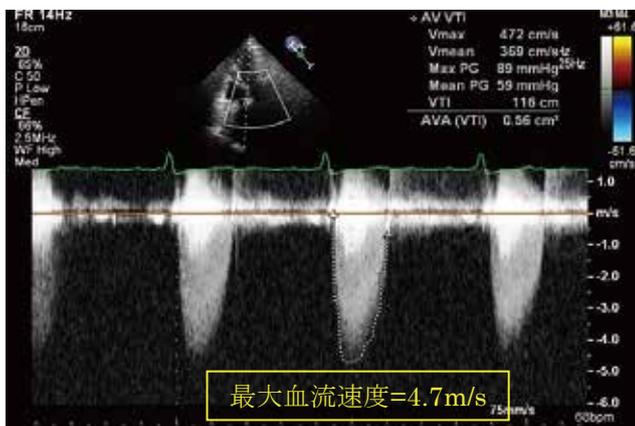
下図は3D画像で術者の視点（左房側）からみた僧帽弁画像（Surgon's view）になります。前尖の中央部が逸脱し、その先端に線上構造物（黄矢印）が見えますが、これは断裂した腱索と考えられます。



③ 高度大動脈弁狭窄症



弁口面積(赤)=0.56cm²



87歳女性。心不全で救急搬送となった患者さんです。高齢化により患者数が増えている疾患の一つです。本症例は心不全改善後、TAVI（経カテーテル大動脈弁留置術）を行いました。

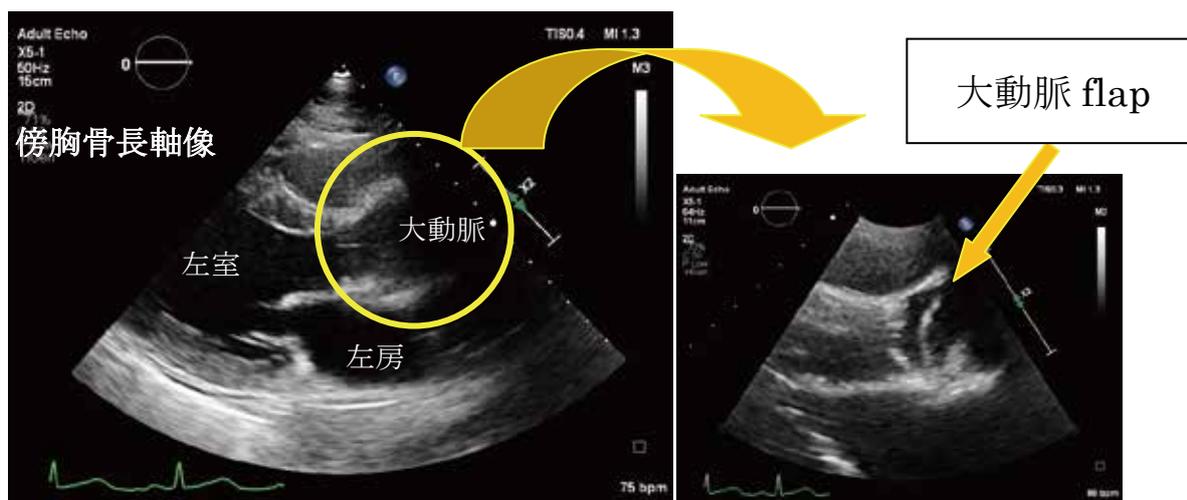
④ 左房粘液腫

69歳男性。健診で心房細動を指摘され、当院紹介、自覚症状はありませんでした。心機能評価目的に行った心エコーで、左房後壁に付着する巨大な異常構造物を認め、左房粘液腫と診断しました。すぐに心臓血管外科へ紹介し、緊急手術となりました。

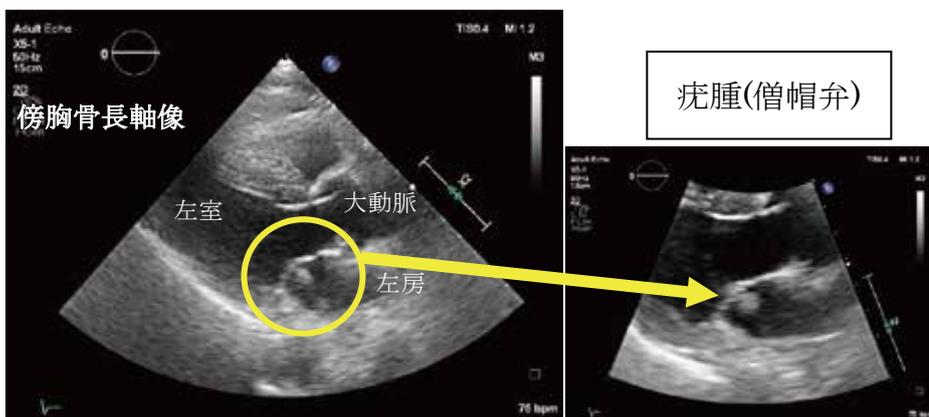


⑤ 大動脈解離 (Stanford A 型)

42歳男性。主訴は「咳嗽」でした。胸部単純 CTで両側胸水貯留を認め、心不全鑑別目的に心エコーを行ったところ、大動脈に flap 像を認めました。心エコーでしか診断にたどり着けない症例でした。

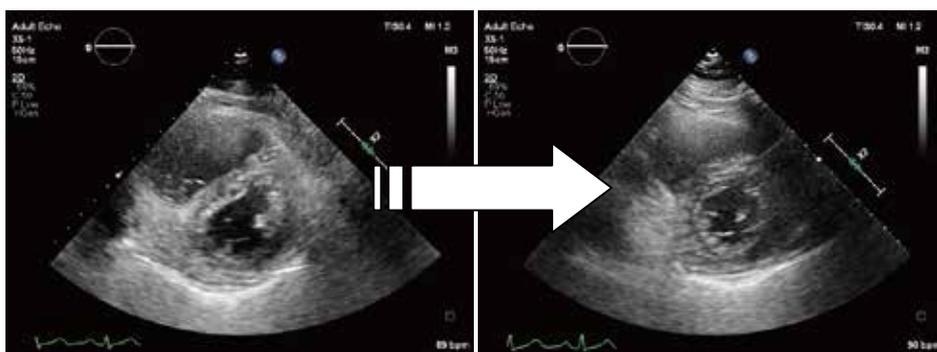


⑥ 感染性心内膜炎



64歳男性。脳梗塞発症で入院。発熱、炎症高値で心原性塞栓精査のため行った心エコーで僧帽弁に付着する疣腫を認め、感染性心内膜炎による脳梗塞と考えられました。手術適応と判断し、心臓血管外科に紹介となりました。

⑦ 肺血栓塞栓症



57歳女性。2週間前からの呼吸困難を主訴に来院。心エコーで肺高血圧を示唆する左室 D shape を認めました(左図: TR-PGから算出した推定右室圧 = 63mmHg)。肺血栓塞栓症が疑われ、造影 CTを行ったところ、左右肺動脈に血栓像を認めました。右図は抗凝固療法後に施行した心エコー図であり、肺高血圧所見は消失していました。

さいごに

地域医療連携室を通して、心エコー検査のみの予約も可能です(月～土曜 9時～16時)が、虚血性心疾患などの場合は同日に冠動脈 CTや心筋シンチと組み合わせることも可能です。また新たに「心疾患セット」としまして、心エコー、頸動脈エコー、心電図、ABI、Holter心電図をまとめて行う体制を構築中です。体制が整い次第開始いたします。検査に迷われた場合には、循環器内科(月～金曜、第1・3土曜)へご紹介ください。



2019. 3 月

第 30 回府中循環器セミナー

心肥大、きちんと鑑別診断できていますか？

— 高血圧性心疾患？ 肥大型心筋症？ 蓄積性疾患？ —

日時：平成 31 年 3 月 9 日（土） 14：00～16：00

場所：府中病院 西館地下 1 階 セミナーホール

泉州糖尿病 up to date 2019

その気にさせる—糖尿病運動療法—

日時：平成 31 年 3 月 23 日（土） 17：00～18：50

場所：府中病院 西館地下 1 階 セミナーホール

第 29 回府中臨床セミナー

認知症診断における脳血流 SPECT の役割

～改正道交法施行 1 年を振り返って～

日時：平成 31 年 3 月 28 日（木） 18：30～19：30

場所：府中病院 東館 1 階 健康教室

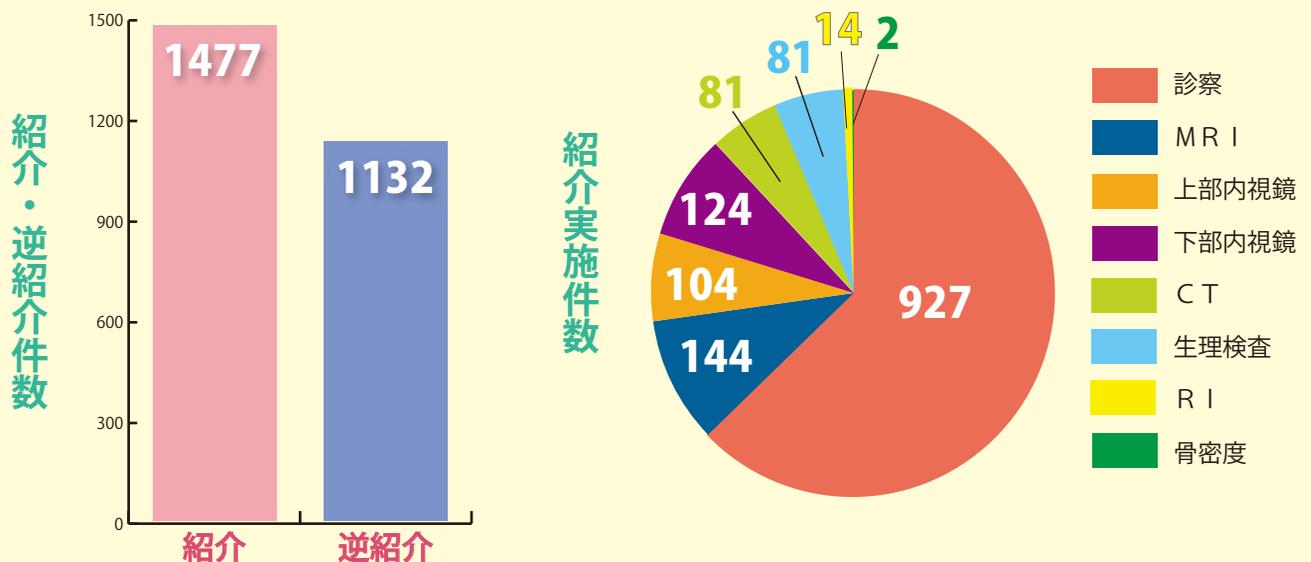
第 16 回病診オープンカンファレンス（外科センター）

当院外科センターにご紹介いただいた患者さんの症例提示（3 症例）

日時：平成 31 年 3 月 30 日（土） 15：00～16：00

場所：府中病院 東館 1 階 健康教室

紹介実績<平成 31 年 1 月>



2019年2月・189号 ネットわーく

発行責任者：院長 竹内 一浩

編集責任者：地域連携部 松田 有裕

編集者：地域医療連携室 森 舞子

〒594-0076 和泉市肥子町1丁目10番17号 府中病院 地域医療連携室

TEL：0725-40-2147 予約専用フリーダイヤル：0120-40-2147

FAX：0725-40-2148 E-mail：chiikirenkei@fh.seichokai.or.jp

私たちの理念

愛の医療と福祉の実現。

地域と職員と共に栄えるチーム

Yu・ki・to・do・ku ゆき届いたサービス

私たちの基本方針

チームとして、そしてパートナーとして
チャレンジします。

3つのベストにチャレンジします。